広島女学院大学　オープンセミナー（オンライン型）　動画③用ワークシート

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　受講番号　　　　　　　氏名

※動画を視聴しながら、書き込んでいきましょう。

①企画の基盤になる「仮説」を立てましょう

→あなた（若者）の生活の中で、あるいはあなたの好きなものや得意なことを活かして、古着物を活用

　するにはどんな商品、システム、催しなどがあるといい？

＜企画に使う「古い着物」の条件＞

①日焼け、シミ、汚れなどによる色むらがあります。

②晴れ着ではなく、日常着がほとんどなので、紺、茶、深緑など地味な色みのものがほとんどです。

③薄地のものは破れやすく、厚地のものはゴワゴワとした肌触りです。

④着物のほかに、帯、帯締め、帯揚げ、羽織も預かっています。

⑤着物地の幅は大体30㎝くらいで、解いて布として使うと、8mくらいの長さがあります。ただし、①にもあるように、汚れを避けて使用するため、長くても1m程度です。縫いつなげば幅を広げることはできます。

②仮説を立てたら、企画の概要を考えよう！※モノでもシステムでも催しでもOK！

①いつ、どれくらい（頻度）使う？

②誰が、どこで使う？

③どんなふうに使う？

④古着物はどれくらいの枚数が必要？

⑤どれくらいの期間使える？

＜評価のポイント＞

○実現可能度　→　HJUきものリメイクラボの活動として実現できるかどうかで判断します。なお、本プロジェクトはひろしまきもの遊び以外の企業や団体との協働もあり得ます。

○若者への影響度　→　10～20代の若者が支持するかで判断します。具体的には、HJUきものリメイクラボメンバーと一緒に評価します。

○古着物活用度　→　どれくらいの量の古着物が使われているかで判断します。